

事務事業名		明るく安全な里山林の整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり						担当係	森林整備係	担当課長名	富田一夫	
	施策	2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	2 自然環境の保全と再生						実施計画事業・一般事業	実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	国県補助事業				
	9982	一般	6	2	2	明るく安全な里山林の整備事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業				
							実施方法	直営				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	20年度～29年度		根拠法令 条例等	明るく安全な里山林整備事業 業交付金交付要領	事業分類	支援事業				
							リーディングプロジェクト	該当なし				
							市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
とちぎの元気な森づくり県民税の創設に伴い、里山林を再生させる明るく安全な里山林整備事業を実施する。 ・地域で育み未来につなぐ里山林整備事業 1,000千円/haを計画期間で配分(2年目以降の管理費なし) ・通学路や住宅地周辺の安全安心を確保するための里山林整備事業 250千円/ha ・野生獣被害軽減のための里山林整備事業 250千円/ha ・里山林管理事業(最大5年目まで) 50千円/ha ・森づくり活動地域支援(6年目以降) 2千円/ha		里山林整備事業 平成26年度まで累計 158.46ha(うち52.50haは5年経過で終了) 平成26年度 将来まで守り育てる(整備)ー (管理)3地区 8.76ha 計 8.76ha 地域で育み (整備)1地区 2.1ha (管理)ー 計 2.1ha 通学路等 (整備)1地区 2.7ha (管理)ー 計 2.7ha 野生獣被害軽減 (整備)4地区 16.7ha (管理)12地区 75.7ha 計 92.4ha 合計 (整備)6地区 21.5ha (管理)15地区 84.46ha 計 105.96ha						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		整備計画面積	ha	15	21	12	3	3
		整備計画面積累計	ha	137	158	170	173	176
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
市内にある人工林		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		整備済面積	ha	15	21	12	3	3
		整備済面積累計	ha	137	158	170	173	176
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
目的 適正な森林管理を推進する		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		整備済面積/整備計画面積	%	100	100	100	100	100
		整備済面積累計/整備計画面積累計	%	100	100	100	100	100
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
豊かな自然環境が保全、再生されている。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		人工林の間伐実施面積	ha	13	45	100	110	110

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円	8,221	9,773	6,858	4,778	3,933					
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円		8,221	9,773	6,858	4,778	3,933				
	事業費の内訳	千円										
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	48	消耗品費	0	消耗品費	100	消耗品費	100	消耗品費	100
			通信運搬費	0	通信運搬費	0	通信運搬費	7	通信運搬費	7	通信運搬費	7
			業務委託料	2,573	業務委託料	0	業務委託料	300	業務委託料	750	業務委託料	750
			作成委託料	42	作成委託料	54	作成委託料	100	作成委託料	100	作成委託料	100
			交付金	5,558	交付金	9,719	交付金	6,351	交付金	3,821	交付金	2,976
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1					
	のべ業務時間	時間	600	600	600	600	600					
	人件費計(B)	千円	2,335	2,365	2,365	2,365	2,365	2,365	2,365	2,365	2,365	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,556	12,138	9,223	7,143	6,298					

事務事業名	明るく安全な里山林の整備事業	担当部	産業文化部	担当課	農山村振興課	担当係	森林整備係
-------	----------------	-----	-------	-----	--------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	木材価格の低迷や山で働く人の減少により、山の手入れが行われず荒廃した森林が増大し、公益的機能が低下しつつある中、平成20年度よりとちぎの元気な森づくり県民税が導入され、私たちに大切な恩恵を与えてくれる森林を県民全体の環境資源ととらえ、健全な姿で次の世代に引き継いでいくための事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地球温暖化防止対策として、益々森林の持つ役割が重要になっていくと考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	増税するのではなく現状予算のやりくりで対応すべき・ボランティア活動で十分である・栃木県だけでなく全国的な問題だ、国が取組む問題ではないか等の意見が寄せられた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	里山林を整備することで、豊かな自然環境・景観保全・自然とのふれあいを向上させることができるため結びついている
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	明るく安全な里山林整備事業交付金交付要領に、栃木県からの交付金の交付相手は市町村となっている
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市内にある里山林が対象で、意図が機能の保全向上なので、妥当である
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	手入れをしていない里山林を手入れするので成果は十分出ている
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	県で設定する単価を使用しているため
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	全額とちぎの元気な森づくり県民税による事業のため
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	期間限定事業 平成20年度～平成29年度			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			